

令和5年度定期監査結果報告書

地方自治法第199条第4項及び豊頃町監査委員条例第4条の規定に基づく、令和5年度定期監査の結果を同法第199条第9項の規定により、次のとおり報告します。

令和5年11月22日

豊頃町監査委員 山口 浩 司
同 上 後 藤 孝 夫

記

- 1 監査の実施年月日 令和5年10月13日から同年11月15日までの
うち6日間
- 2 監査対象機関と監査項目 別記1のとおり
- 3 監査の結果と所見 別記2のとおり
- 4 住民への公表方法等 豊頃町公告式条例による役場前掲示場及び豊頃町ホームページにおいて令和5年12月1日から公表

別記 2 監査の結果と所見

1 各課等共通事項

(1) 町有車両の運行、管理及び保管状況

車両の運行、管理及び保管体制については、効率的な運行・管理に向け努力されているが、現在の公用車の台数は103台（前年度同期100台）で、昨年から3台増え2年続けて車両が増加している。車両の保管状況は、庁舎西側、東1条通り、給食センター、こどもプラザ、豊頃消防署等に保管・管理され、車検切れの車両は無かったが、車両の増加に伴い車庫に保管されていない車両があると伴に、運転日誌については記載漏れや使用目的が不明なものが多々見受けられた。

保有公用車両は昨年度より3台増えていることから、配置を含めた効率的運用や維持経費の節減等に努められたい。

(2) 出張命令簿の取扱状況

旅費を伴う出張については、出張命令簿により適切に決裁処理されている。なお、昨年の本報告書においても同様に記載していたが、旅費の支給の無い管内出張等（町内出張含む）については、豊頃町職員服務規程第8条の2の規定に基づき必ず上司の承諾を得て出張することとなっているので、管内出張等の際には必ず電子申請による管内出張伺いと運転日誌への記載をするよう適切に処理されたい。また、管内出張等の電子申請については、その処理について運転日誌等との突合が容易にできるよう改善をされたい。

(3) 物品の購入及び修繕費の支出負担行為の状況

需用費、原材料費、備品購入費、修繕費等の支出負担行為については、ほぼ適正に行われていると認められるが、随意契約における決裁においてその根拠が記載されていないものなど決裁における不備が見受けられたので、今後とも適切な事務処理に努められたい。

(4) 委託料、使用料及び賃借料、工事請負費及び公有財産購入費の支出負担行為の状況については、ほぼ適正に処理されていると認められるが、随意契約における決裁においてその根拠が明記されていないものなど決裁における不備が見受けられたので、今後とも適切な事務処理に努められたい。

(5) 各種団体への補助の状況

町が運営補助を行っている町内各団体中24団体（別紙団体調べ）の令和4年度までの決算状況の監査を行った。各団体とも決算はほぼ適切な状況であったが、一部の団体の決算において繰越額が補助額を上回るものも見られ、事務事業の見直しを含めた検討を要する団体も見受けられた。

なお、今年度においては新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり通常の活動となることから多額の繰越金は見込まれないと思われるが、各団体の事業の内容を十分に精査した予算編成が必要と思われる。

2 総務課関係

(1) 超過勤務の実施状況

(単位：時間)

年 度	実施時間	増 減
令和元年度	7,848	470
令和2年度	7,233	△ 615
令和3年度	12,793	5,560
令和4年度	11,832	△ 961
令和5年度	(6,160)	

(令和5年度は、9月末日現在)

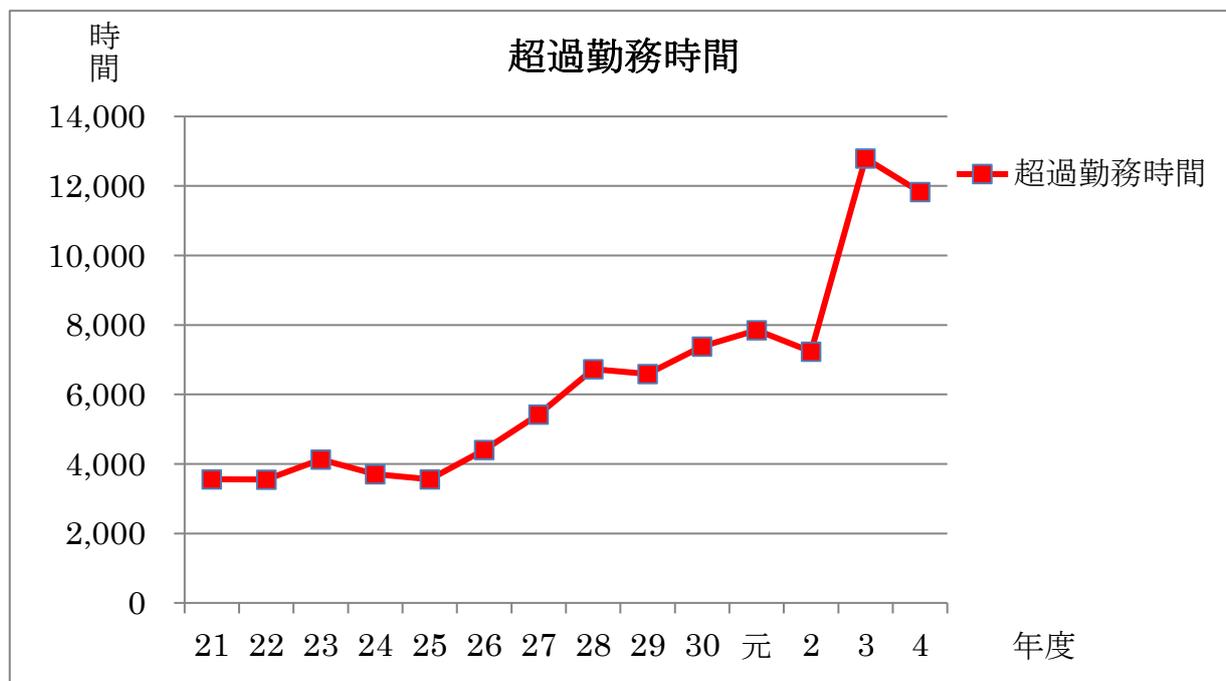


図 超過勤務時間の推移

平成26年度以降において実施時間が増加傾向にあったが、令和4年度は、令和3年度と比較すると若干減少しているが依然として増加傾向が続いている。今年度についても統一地方選挙による業務増や人事異動、新規採用職員の増加などにより超過勤務時間の増加が見込まれる。

今後は、業務量の平準化、事務の効率化など働き方改革を進めるとともに目標時間を設定するなど抑制に向けた改善が必要と思われる。

(2) 町財政の状況

(単位：千円、%)

会 計 名		令和4年度 予 算 額	令和5年度 予 算 額	増減額	増減率
一 般 会 計		6,478,000	5,883,000	▲595,000	▲9.2
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	581,110	572,859	▲8,251	▲1.4
	介護保険特別会計	388,328	379,377	▲8,951	▲2.3
	後期高齢者医療特別会計	68,885	69,250	365	0.5
	医療施設特別会計	50,790	74,882	24,092	47.4
	簡易水道特別会計	362,091	310,388	▲51,703	▲14.3
	公共下水道特別会計	265,070	255,025	▲10,045	▲3.8
	小 計	1,716,274	1,661,781	▲54,493	▲3.2
合 計		8,194,274	7,544,781	▲649,493	▲7.9

令和5年度一般会計ほか6特別会計の当初予算額は、75億4,478万1,000円で対前年度比7.9パーセントの減となっている。また、一般会計においても、対前年度比9.2パーセントの減となっている。

当初予算における普通交付税は、前年度当初予算比で2,060万4,000円増の22億4,207万円で計上していたが、普通交付税の算定額が24億2,503万1,000円となっていることから、9月末日現在での普通交付税予算額は、22億4,655万7,000円となっている。

また、臨時財政対策債は、当初予算1,660万円で予算計上していたが、本年の交付税算定により1,338万1,000円となっている。

令和4年度における実質公債費比率は、7.5パーセント（前年度7.5パーセント）で、令和5年度においては9.0パーセントの見込みであることから、今後においては、地方債の元利償還額が財政を圧迫する可能性が今までよりも高くなることを示している。

一般会計における基金額は、令和4年度末58億1,687万7,192円で、

本年度末の見込は54億4,974万8,000円(6.3パーセント減)である。一般会計における地方債残高は、令和4年度末で59億4,263万2,398円、令和3年度末50億2,596万2,418円と比較して9億1,666万9,980円(18.2パーセント)の増となっている。また、本年度末の残高見込みは、64億3,023万4,000円で4億8,760万1,602円の増となっている。

本年度一般会計決算の見込みでは、経常収支比率が83.4パーセント(前年度76.6パーセント)と6.8ポイントの増となっており、依然として財政の硬直化が懸念される。また、実質公債費比率の状況や基金残高の推移から見て、本町の財政は良好な状況にあると言えるが、今後は、公共施設の長寿命化を図るための維持補修費等の増加が予定されており、歳出規模が拡大される状況にあることから、長期的な見通しのもと財政計画を立て、最小の経費で最大の効果が発揮されるよう努められたい。

(3) 職員の研修の状況

(単位：人)

研修区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般研修	27	49	46	26
海外研修	0	0	0	0
その他研修	1	3	2	4
合計	28	52	48	30

(令和5年度は、9月末現在)

一般研修では、基礎的研修、法務研修や政策形成能力開発研修等幅広い分野の研修に、希望者のみでなく経験年数や役職に応じてある程度計画的に職員が参加している。

コロナ禍ではあるが、一昨年度から徐々にオンラインを含めた研修機会が増え通常の研修が受講できる状況となってきたが、今後においては、特に新規採用職員を含めた経験年数の浅い職員に多くの研修機会を与えるなど職員の能力向上のため、積極的に研修に参加できるよう努められたい。

(4) 入札における落札率の推移

入札における透明性確保の観点から、平成14年度から予定価格の事前公表が実施されている。

本年9月末日現在の工事請負契約に係る落札率の状況は、97.5パーセント（令和3年度同期97.0パーセント、令和4年度同期97.2パーセント）と高い落札率で推移している。今後においても、入札における競争性、透明性、公正性を重視した入札執行に努力されたい。

(5) 消防団に関すること

各課等共通事項について適正に処理されていると認める。

3 住民課関係

(1) 町税等の収納状況

本年9月末日現在及び前年度同期における町税及び国民健康保険税の納期到来分の収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区分		納期到来 調定額	納期到来 収入済額	収入未済額	収納率
本年度	町税	347,745,334 (2,053,912)	299,813,021 (653,037)	47,932,313 (1,400,875)	86.2 (31.8)
	国保税	75,785,600 (994,104)	73,886,100 (214,732)	1,899,500 (779,372)	97.5 (21.6)
	医療給 付費分	53,498,417 (682,480)	52,120,756 (146,812)	1,377,661 (535,668)	97.4 (21.5)
	介護給 付費分	6,974,356 (139,083)	6,814,471 (31,178)	159,885 (107,905)	97.7 (22.4)
	後期高齢 者支援金	15,312,827 (172,541)	14,950,873 (36,742)	361,954 (135,799)	97.6 (21.3)
	計	423,530,934 (3,048,016)	373,699,121 (867,769)	49,831,813 (2,180,247)	88.2 (28.5)
前年度	町税	374,789,773 (2,251,121)	325,583,774 (554,440)	49,205,999 (1,696,681)	86.9 (24.6)
	国保税	91,297,400 (1,258,905)	89,687,200 (58,291)	1,610,200 (1,200,614)	98.2 (4.6)
	計	466,087,173 (3,510,026)	415,270,974 (612,731)	50,816,199 (2,897,295)	89.1 (17.5)
比較	町税	▲27,044,439 (▲197,209)	▲25,770,753 (98,597)	▲1,273,686 (▲295,806)	▲0.7 (7.2)
	国保税	▲15,511,800 (▲264,801)	▲15,801,100 (156,441)	289,300 (▲421,242)	▲0.7 (17.0)
	計	▲42,556,239 (▲462,010)	▲41,571,853 (255,038)	▲984,386 (▲717,048)	▲0.9 (11.0)

() 内は滞納繰越分

(2) 町税等の賦課徴収及び減免・不納欠損等に関する状況

調定決議書、減免手続き、徴収猶予、督促状発件簿及び徴収金引継簿等、賦課徴収事務処理はいずれも適正であると認めた。

本年9月末日現在における各処理の状況は、次のとおりである。

・減免の状況

総数（実数）	22件	36万7,000円
内訳		
国保税	1件	1万5,700円
軽自動車税	14件	13万7,100円
固定資産税	7件	21万4,200円

・執行停止の状況

総数（実数）	13（2）件	64万8,403円
内訳		
国保税	7件	43万6,962円
軽自動車税	2件	2万5,800円
固定資産税	1件	8,000円
町道民税	3件	17万7,641円

・不納欠損 無

また、本年9月末日現在における滞納整理に係る調査・差押え等の状況は、次のとおりである。

・調査関係 11件

内訳	・実態調査	10件	・預貯金調査	0件
	・給与調査	0件	・戸籍等の無料交付申請	1件
	・その他	0件		

・差押関係 3件

内訳	・給与	1件	2万8,040円
	・国税還付金	2件	2万0,210円

・滞納整理機構への引継ぎ 3件 53万4,632円

以上のとおり、地方税法の各規定に基づく執行停止や不納欠損処理等は適正に管理されている。

また、差押え並びに滞納整理機構への引継ぎなど、滞納者への積極的な対応も同時に実施されていることから、町民に対する納税負担の公平性は担保されていると解する。また、現年課税分の収納率が88.2パーセント（前年比0.9ポイント減）であるが、依然高い水準となっている。これらは、平成20年度から実施している新規滞納者の発生を抑制するための、現年課税分完納指導によるものと推察される。さらに、この指導は、納税者の納税意識の向上を図ることも期待できることから、継続した対応に努められたい。

(3) 危険廃屋解体撤去事業

平成26年度から実施している本事業は、市街地に所在する防災上危険な空き家の解体撤去を目的に、その費用の一部を補助する事業である。これまでの事業実績は、次のとおりであるが、本年度は9月末現在で申請は無い状況である。

年度	申請 件数	解体業者		用 途	建物面積 (㎡)	助成額 (千円)
		町内	町外			
27	4件	3件	1件	住宅・車庫	467.3	1,750
28	3件	3件	- 件	住宅・車庫	370.1	1,500
29	2件	1件	1件	住宅・倉庫	101.7	434
30	3件	2件	1件	住宅・車庫・倉庫	235.5	809
元	2件	1件	1件	住宅	186.8	750
2	2件	2件	- 件	住宅	243.7	963
3	3件	2件	1件	住宅	305.9	1,124
4	6件	6件	- 件	住宅	634.5	3,000
5	0件	0件	0件	—	—	—

(令和5年度は、9月末現在)

(4) コミュニティバスの運行状況

平成22年4月から運行されているコミュニティバス（福祉センター～豊頃駅～豊頃佐々田町）は、土曜日・日曜日及び祝日並びに12月29日から1月3日までを除く、月曜日から金曜日までの毎日、1日7往復が運行されている。本年9月末日現在までの乗車状況は、延べ乗車人数2,774人（前年同期3,264人）、1日平均乗車人数22.4人（同26.5人）と前年から490人、1日当たり4.1人減少しているが、住民の生活を支える交通手段として定着している。

なお、コミュニティバス運行については、民間委託を実施しているが、直営で運行した場合では委託するよりも経費が節減できる試算もあることから、昨年度においても本報告書に記載したが、今後運行業務について検討を要すると考える。

4 企画課関係

(1) 協働のまちづくり地域提案支援事業の状況

平成20年度から実施されている本事業における令和3年度以降の取組状況は、次のとおりである。

年 度	団体数	事業数	交付金総額
令和3年度	32	47	3,119,000円
令和4年度	28	46	3,763,800円
令和5年度	20	23	1,188,450円

(令和5年度は、9月末日現在)

これまでの実施状況から、各地区で多くの取り組みが行われており、この事業が広く町民に浸透していることが伺える。今後においても本事業の目的に沿った協働の町づくりが推進されるよう、他の課との連携を図るなど内容の充実を図りたい。

(2) 町外通勤者助成事業の状況

平成23年度から実施している本事業における令和2年度以降の補助の状況は次のとおりである。なお、平成28年度以降、年齢制限の引き上げ、助成額の上乗せ、また令和3年度からは助成の基準日及び交付期日を変更している。

年 度	補助 件数	勤務地別件数					助成額 (千円)
		帯広市	池田町	幕別町	浦幌町	その他	
3	84	21	21	16	18	8	3,395
4	99	23	22	20	25	9	6,944
5	84	23	19	14	19	9	3,598

(令和5年度は、9月末日現在)

本事業は移住定住を目的とした事業であり、その効果に期待したい。

(3) 産業振興事業の状況

町の産業基盤の強化・発展並びに地域活性化を目指す事業に対して助成を行う事業であり、平成22年度から実施されている。なお、令和3年度以降の助成の状況は、次のとおりである。

事業区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
起業支援	1件	1件	
商店街活性化事業		1件	
異業種進出支援	1件		
新製品等開発支援	1件	1件	1件
デザイン開発支援			
民有林植林奨励	1件		
販路拡大事業			
従業員宿舎等確保支援	5件	5件	4件
補助総額	9,197千円	4,717千円	1,995千円

(令和5年度は、9月末現在)

本年度は9月末までに5件の事業申請であり、今後も地域活性化に資する制度として、本事業のPRを図り目的推進に努められたい。

(4) 町内就業者転入費用補助の状況

町内に転入する者の引越費用を助成し町内の定住人口の確保を図るため、令和3年度から新たに実施されており今年度初めて2件の申請があった。

今後は、引き続き助成内容を分かりやすくPRするなど対象者への周知徹底を図られたい。

年度	人数	助成金額
3	-	-
4	-	-
5	2人	85千円

(令和5年度は、9月末現在)

(5) 奨学金返済助成の状況（豊頃町おかえり助成金）

本町に U ターンする者に対し返済している奨学金の一部を助成し定住促進を図るため、令和3年度から新たに実施されている。

年度	人数	助成金額
3	-	-
4	2人	216千円
5	1人	60千円

（令和5年度は、9月末現在）

(6) はるにれ友遊館の利用状況

市街地の活性化を図る目的で整備された本施設は、平成23年5月から開館されている。本施設の令和2年度以降の利用状況は、次のとおりである。

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	日数	日数	日数	人数	日数	人数
喫茶スペース	196	1,907	240	2,787	118 (119)	1,267 (1,375)
サークルルーム	75	282	87	285	44 (39)	135 (127)
食品加工室	45	153	36	125	7 (13)	23 (37)
オープン スペース	17	1,113	19	847	9 (10)	498 (117)

（令和5年度は9月末現在。（ ）内は、昨年同期）

本年9月末の利用状況は前年同期と比較し、利用人数が増加している。

今後においても市街地活性化の観点から利用促進に努められたい。

(7) 定住促進事業（宅地分譲）の状況

茂岩栄町宅地分譲地（6区画）

年度	3	4	5	計
販売件数	0	0	1	1
建築件数	0	0	0	0

（令和5年度は、9月末現在）

豊頃南町宅地分譲地は、令和元年度までに11区画全てで完売、建設済となっている。また茂岩末広町宅地分譲地についても、令和2年度までに4区画全てで完売、建設済となっている。

なお、令和3年度新たに茂岩栄町に宅地分譲地6区画が造成され令和3年9月から販売を開始し今年度1区画販売され、現在、住宅が建築中である。

(8) 定住促進事業（移住等体験用住宅）の状況

本町への移住・定住を希望する者に対し、本町での日常生活を体験するための「農ある暮らし移住等体験用住宅」が平成24年度建設され、同年7月から貸出が行われている。なお、住宅の概要及び貸出の状況は次のとおりである。

ア 貸出状況

	土間のある家（A）、カラマツの家（B）								
		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
利用日数 (日)	A	220	335	334	35	0	23	59	153
	B	337	183	184	153	0	30	31	0
利用人数 (人)	A	12	2	2	2	0	1	4	2
	B	2	2	10	6	0	1	2	0
利用料金 (千円)	A	409	538	538	63	0	47	149	265
	B	510	280	322	248	0	55	69	0

(令和5年度は、9月末現在)

令和2年度及び令和3年9月までは新型コロナウイルスの影響により貸出を中止していたが令和3年10月から貸し出しを再開しているため、今後も定住促進事業の柱として充実を図りたい。

(9) 定住促進賃貸住宅建設事業

本事業は、町内における賃貸住宅の建設を助長し、本町の住環境の整備と定住促進を目的に、平成18年度より実施している事業である。特に近年の住宅需要の高まりから、平成26年度以降新規に建設された賃貸住宅は次のとおりであるが、令和4年度及び令和5年度においては新規の建築助成申請はない状況である。

年度	申請 件数	世帯用		単身用		助成額 (千円)	建築面積	
		棟数	戸数	棟数	戸数		平米	坪数
26	2件	1棟	4戸	2棟	8戸	19,360	799.93	242.4
27	1件	-	-	2棟	8戸	10,270	423.96	128.5
28	1件	-	-	1棟	5戸	9,600	396.25	120.1
29	3件	2棟	10戸	1棟	4戸	22,210	917.46	278.0
30	2件	-	-	2棟	8戸	10,120	418.30	126.7
元	1件	-	-	1棟	4戸	4,990	206.32	62.5
2	1件	-	-	1棟	4戸	5,050	208.68	63.2
3	1件	-	-	1棟	4戸	5,000	211.98	64.2
4	-	-	-	-	-			
5	-	-	-	-	-			

(令和5年度は、9月末現在)

(10) プレミアム付特別商品券発行事業の状況

本年度のプレミアム付特別商品券発行状況は、次のとおりである。

発行区分	第1回	第2回	第3回	第4回
発行総額	54,012千円	44,472千円	57,096千円	24,420千円
発行枚数	108,024枚	88,944枚	114,192枚	48,840枚
上乘率	20%	20%	20%	20%
購入者数	616人	522人	-人	-人
換金率	99.8%	99.8%	—	—
使用期間	4/24～6/30	6/26～9/30	10/20～12/31	12/15～3/15

(9月末現在)

本商品券は、食料品店の閉店に伴い購入減が懸念されたが、広く町民に浸透し購入者の利用も一部に偏ることなく多岐に亘ってきていることから予定どおりに完売するなど本町商工業の活性化に大いに貢献している。

(11) Toyokoro クーポン券発行事業

Toyokoro クーポン券は、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている本町の商店街を活性化するため全町民に一人5,000円分(1,000円券5枚)のクーポン券を交付し消費の喚起を促したものである。

Toyokoro クーポン券の発行状況は、次のとおりである。

●券発行枚数 15,140枚(15,140千円分)

●使用枚数 14,822枚(14,822千円分) ※使用率97.9%

(12) ふるさと納税に係る歳入歳出及び返礼品の状況

本町のふるさと納税返礼品のPRについては、平成29年度からインターネット上での申し込みを可能とし、令和5年9月末現在の実績は次のとおりである。

ア 寄附の状況

(ア) 件数 804件(前年度実績比22.9%)

(イ) 寄附総額 9,874,000円・・・①

〔 ※令和4年度寄附の実績
件数3,507件、寄附総額39,051,000円 〕

イ ふるさと納税に係る支出の状況

(ア) 支出総額 4,187,397円・・・②

支出のうち

・返礼品代 1,779,004円(寄附額の18.0%)

・送料 594,467円

小計 2,373,471円(支出額の56.7%)

〔 ※令和4年度支出の実績
支出総額 27,644,563円
〔 うち返礼品代11,525,013円+送料8,710,537円
=20,235,550円(支出額の73.2%) 〕 〕

(イ) 収支(①-②) 5,686,603円(対寄附額比57.6%)

(※令和4年度収支の実績 11,406,437円(対寄附額比29.2%))

(13) 中小企業融資制度の融資状況

本年度の融資枠は2億4,000万円で9月末現在の融資枠の残高は1億3,167万8,500円である。また、平成26年度以降における融資の状況は次のとおりである。なお、平成21年7月から融資を受ける際に要する利子および保証料は全額町が補助している。この制度に対する商工業者の期待に応え、融資

枠を拡大してきている。

年 度	補助 件数	融資総額 (千円)	うち運転資金分		うち設備資金分		町助成額	
			件数	融資額 (千円)	件数	融資額 (千円)	利息分 (千円)	保証料 (千円)
26	1	3,000	0	0	1	3,000	4	0
28	1	10,000	1	10,000	0	0	6	191
30	8	69,660	2	11,000	6	58,660	149	628
元	2	25,000	2	25,000	0	0	52	0
2	13	64,220	8	46,500	5	17,720	338	66
3	9	41,480	6	12,300	3	29,180	159	97
4	10	58,860	6	46,000	4	12,860	685	0
5	3	19,700	3	19,700	0	0	183	0

(令和5年9月末現在)

(14) まちなか活性化拠点施設の管理及び利用の状況

本施設は、「まち・ひと・しごと創生に資する施設整備等の取組を進める事業」を目的とした施設として、平成30年4月に茂岩市街地にオープンした。現在、地域商社「ココロコ」の職員が勤務し、施設管理については、町からココロコへ委託し行っている。なお、今後は指定管理者への移行も含め施設設置の目的に沿った利用が促進されるよう体制整備に努められたい。

(15) 豊頃町ジュエリーハウスの利用状況

本施設は、ジュエリーアイスが全国的に注目を浴びたことから、地域経済の活性化、観光振興及び町民の多様な経済活動を支援することを目的とした施設として令和2年12月にオープンした。新型コロナウイルス感染症の影響によりオープン以来施設を閉鎖していたが、令和3年8月から大津住民を対象にジュエリーハウス「互産互生市」などを開催している。

ジュエリーアイスが来る12月以降の利用については、町外からの観光客による早朝の騒音対策など地域住民への理解が得られるよう利用を検討し、地域活性化のための施設として有効活用が図られるよう努められたい。

5 福祉課関係

(1) 特定健診・後期高齢者健診の受診状況

特定健診受診券の発送は、平成24年度から開始し、10年が経過している。受診券利用の仕組みを理解して受診する方が増え、道内でもトップクラスの受診率となっているが、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により受診率がかなり落ち込んでいる。

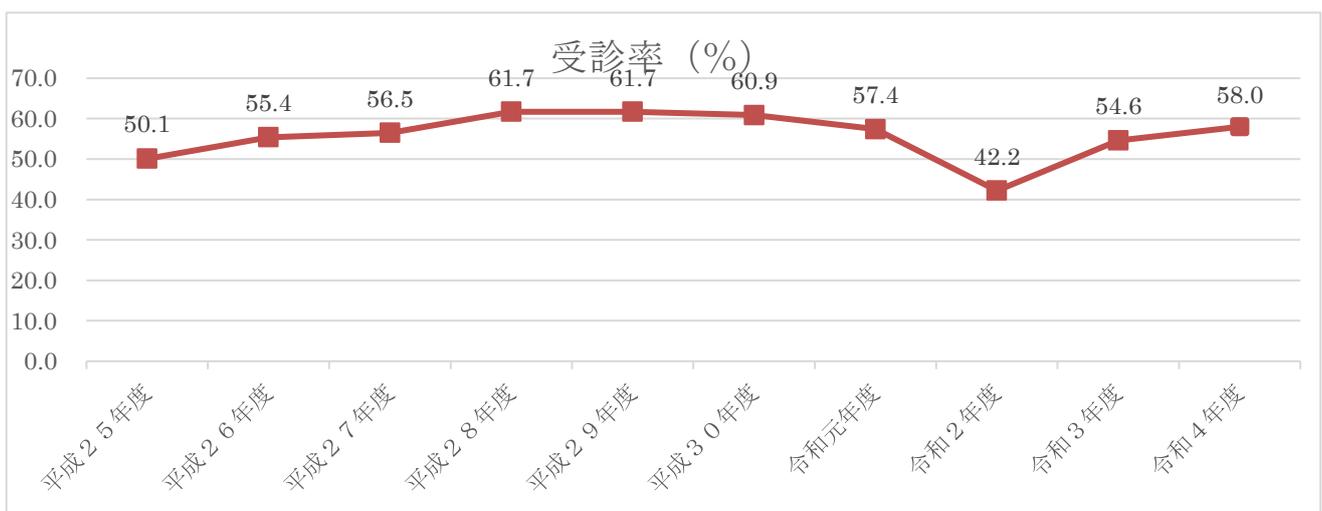
特定健診の受診率向上は、医療費抑制への効果が期待されることから引き続き、町民の健診受診率並びに健康意識の向上に努められたい。

ア 国保特定健診受診率の推移

年度	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
対象者数 (人)	887	876	841	807	785	774	760	772	736	666
受診者数 (人)	444	485	475	498	484	471	436	326	402	386
受診率 (%)	50.1	55.4	56.5	61.7	61.7	60.9	57.4	42.2	54.6	58.0
目標受診率 (%)	45.0	45.0	50.0	55.0	62.0	62.0	62.0	63.0	64.0	64.0

※法定報告値。

イ 国保特定健診受診率のグラフ



(2) 新型コロナウイルスワクチン接種状況

町民の新型コロナウイルスワクチンの接種状況は、次のとおりである。

		6 か月～4 歳	5 歳～11 歳	12 歳～64 歳	65 歳以上	計
対象者		85 人	119 人	1,517 人	1,196 人	2,917 人
接 種 者	1 回目	14 人	75 人	1,557 人	1,174 人	2,820 人
	実施率	16.5%	63.0%	102.6%	98.2%	96.7%
	2 回目	14 人	73 人	1,551 人	1,166 人	2,804 人
	実施率	16.5%	61.3%	102.2%	97.5%	96.1%
	3 回目	14 人	44 人	1,317 人	1,145 人	2,520 人
	実施率	16.5%	37.0%	86.8%	95.7%	86.4%
	4 回目	0 人	15 人	859 人	1,080 人	1,954 人
	実施率	0%	12.6%	56.6%	90.3%	67.0%
	5 回目	0 人	0 人	212 人	1,011 人	1,223 人
	実施率	0%	0%	14.0%	84.5%	41.9%
	6 回目	0 人	0 人	37 人	833 人	870 人
	実施率	0%	0%	2.4%	69.6%	29.8%
	7 回目	0 人	0 人	2 人	431 人	433 人
	実施率	0%	0%	0.1%	36.0%	14.8%

(令和5年10月10日時点)

本町のワクチンの接種率については、1 回目が 96.7 パーセント、2 回目が 96.1 パーセント、3 回目が 86.4 パーセント、4 回目が 67.0 パーセント、5 回目が 41.9 パーセント、6 回目が 29.8 パーセント、7 回目が 14.8 パーセントと高い接種率となっている。なお、本町においては接種会場を保健センター、大津コミセン及び豊頃医院で実施しているが、学生や町外で入院をしている町民については、町外の病院等で実施が可能となっている。今後においても万全の接種体制で臨んでほしい。

また、新型コロナウイルス感染症の PCR 検査費用への助成を実施しているが今年度は申請が無い。

(3) 国民健康保険医療費の給付状況

国民健康保険の医療費の推移は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
療養給付費	256,788	232,165	246,022	246,266
療 養 費	1,653	2,028	1,959	1,638
高額療養費	30,326	26,723	24,330	28,961
計	288,767	260,916	272,311	276,865
前 年 比	▲1.7	▲9.6	4.4	1.7

・国民健康保険特別会計の財政状況（令和4年度）

(単位：千円)

歳 入	国民健康保険税（一般、退職）	160,352
	北海道支出金（保険給付費等交付金）	312,105
	一般会計繰入金	28,813
	その他の収入	20,369
	繰越金	2,026
歳入合計		523,665
歳 出	総務費	8,426
	保険給付費（一般、退職）	282,167
	国民健康事業費納付金（北海道）	211,441
	保険給付費等交付金償還金	125
	保健事業費	14,262
	その他の支出	1,098
	基金等積立金	6
歳出合計		517,525
収支差引額（歳入合計 - 歳出合計）		6,140

農業者等の法人化で、多数の被保険者が社会保険に加入したことにより令和3年度から国民健康保険税の収入がかなり減少していることから、国民健康保険基

金積立金は、令和4年度末現在9,833万1,833円であったが、令和5年度は国民健康保険特別会計の財源不足を補うために基金取崩しを2,800万円予定しており、令和5年度末における基金保有額は、7,033万7,132円となる見込みである。

なお、本年9月末の療養給付費等の給付状況は、療養給付費9,060万9,254円（前年同期1億1,331万2,979円）、療養費83万1,637円（前年同期84万8,782円）、高額療養費1,191万5,848円（前年同期1,629万1,687円）となっており、療養給付費、療養費及び高額療養費のいずれも減少している。

（4）国民健康保険税の滞納者に対する対策

国民健康保険税の滞納対策として、豊頃町国民健康保険税滞納者に係る措置の実施要綱に基づき、本年10月1日現在で有効期限3か月短期証交付（2世帯2人）などの措置が講じられている。本年度の各証交付世帯は、昨年度より1世帯増加している。

（5）町立豊頃医院の委託運営状況

大津診療所を含む町立豊頃医院の令和4年度の受診件数は4,502件（前年度4,591件）、診療報酬は2,990万7,973円（前年度2,915万189円）で、受診件数は89件の減、診療報酬において対前年度比2.6パーセント増となっている。令和3年11月から豊頃医院の運営形態が指定管理者制度へ移行したことにより、本町の地域医療体制の強化が図られ、町外の医療機関を利用している町民の利便性向上により、町立豊頃医院への町民の受診件数が増加されることが期待される。

（6）町立歯科診療所の委託運営状況

令和4年度における受診件数は1,479件（前年度1,372件）、診療報酬は2,345万6,730円（前年度2,144万180円）で、受診件数は107件の増、診療報酬において対前年度比9.4パーセント増となっている。

(7) 介護保険事業の運営状況

本年9月末日現在における第1号被保険者数は1,204人(前年同期1,203人)で、介護認定を受けている者は262人(前年同期252人)である。その認定者のうち居宅サービスの受給者は114人(前年同期106人)、施設サービスの受給者が48人(前年同期48人)、地域密着型サービス受給者が71人(前年同期68人)で、本年9月末日現在での要介護(要支援)の認定申請状況は、申請件数67件(前年同期95件)となっている。

本年9月末日現在における基金の状況は、次のとおりである。

・介護給付費準備基金 5,559万6,585円

(8) 介護保険料収納状況

介護保険料の収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
令和4年度	現年分	63,964,700	31,759,300	0	32,205,400	49.7
	滞納分	140,900	56,100	0	84,800	39.8
	計	64,105,600	31,815,400	0	32,290,200	49.6
令和5年度	現年分	64,323,400	32,488,900	0	31,834,500	50.5
	滞納分	313,700	124,600	0	189,100	39.7
	計	64,637,100	32,613,500	0	32,023,600	50.5

(各年度の数値は、9月末日現在の数値)

本年度は、現年度分の徴収率が50.5パーセント(前年同期49.7パーセント)と前年度比0.8パーセント上がっているが、収入未済額に対し滞納繰越が発生しないよう、積極的な徴収に努められたい。

(9) 患者輸送車の運行状況並びに福祉タクシー券の利用状況

患者輸送車の運行は、豊頃医院及び豊頃町歯科診療所の休診日、土曜日・日曜日及び祝祭日を除き毎日運行されており、令和3年度からは、月曜日は2路線、火曜日1路線、水曜日2路線、木曜日1路線、金曜日2路線で各路線1日4便の運行に変更し、1便は乗車のみ、2便及び3便は乗降車、4便は降車のみとなったことから、通院以外の利用者の利便性が高まったが、運行日数243日（前年度242日）、輸送人員1,254人（同1,340人）、1日当たり平均輸送人員5.2人（同5.5人）となっており、前年度と比較すると利用者が減少してきている。本年9月末日現在の状況では、運行日数124日（前年同期123日）、輸送人員514人（同673人）、1日当たり平均輸送人員4.1人（同5.5人）と、前年度から利用者数がかなり減少している。

福祉タクシー券の令和4年度の利用状況は、交付世帯311世帯（前年347世帯）、交付枚数1万4,408枚（同1万6,296枚）、使用枚数7,856枚（同8,475枚）で、使用率は54.5パーセント（同52.0パーセント）となっている。本年9月末日現在の状況は、交付世帯292世帯（前年同期307世帯）、交付枚数1万3,536枚（同1万4,232枚）使用枚数2,875枚（同3,569枚）で、使用率は21.2パーセント（同25.1パーセント）である。

本事業は、高齢者の中では定着した事業であり、町内高齢者の移動手段の確保の意味からも今後も重要と思われる。

(10) 次世代育成支援金

本事業は、町民の出産・子育てに対し「出産祝金」「健全育成支援金」「保育所通所支援金」を対象者に支給しているが、一部の支援金については、昨年においても本報告書において指摘しているところであるが、他の制度と重複となっている支援金もあるので、今後、見直しを検討されたい。

6 産業課関係

(1) 農業農村サポート研修施設の利用状況

この研修施設は、将来の農業を担う新規就農者や農業後継者に対し、研修等による先進的な人材育成を実施することにより、本町の基幹産業である農業の振興に寄与するため、平成16年1月からアグリサポートセンターとよころが主体となり運営されてきたが、利用実績から平成28年4月に運営主体が解散している。管理については、豊頃町農業協同組合に委託されていたが、令和5年度から町で直接管理を行っている。

本施設の利用状況は次のとおりとなっている。

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
研修室等利用者数	70人	136人	101人
宿泊室利用者数	34人	4人	26人
使用料収入	78,780円	16,960円	147,280円

(令和5年度は、9月末日現在)

(2) 家畜飼養用水緊急支援の状況

本事業は、農業用資材及び家畜用飼料などの高騰対策の一環として、町内の乳用牛及び肉用牛を飼養している農業者に対し、年間水道使用料の一部助成を平成21年度から実施している。なお、令和2年度以降の状況は次のとおりである。

年度	区 分	補助件数	補助総額(千円)
2	乳用牛	44	3,821
	肉用牛	21	435
	養豚	2	244
	計	67	4,500
3	乳用牛	44	3,829
	肉用牛	21	432
	養豚	2	239
	計	67	4,500
4	乳用牛	44	3,967
	肉用牛	21	466
	養豚	2	67
	計	67	4,500

(各年度実績値)

7 施設課関係

(1) 公園の管理及び利用の状況

各公園の草刈り、清掃等の管理の状況は良好であると認める。茂岩山自然公園では、平成16年4月からのパークゴルフ場、管理棟などの利用が有料化され、公園施設使用料の委託徴収が行われていたが、平成25年度からパークゴルフ場が無料となっている。

本年9月末日現在までの各施設の利用状況は次のとおりである。

施設名	利用人数(人)	使用料(円)
パークゴルフ場 (用具貸出含む。)	3,377 (4,914)	0 (0)
テニスコート	8 (6)	2,400 (1,800)
自転車	2 (0)	600 (0)
キャンプ場	202 (244)	58,800 (46,200)
バンガロー (寝具貸出含む。)	718 (951)	587,500 (544,200)
管理棟	176 (229)	35,200 (45,800)
パーゴラ	1,361 (453)	107,900 (39,500)
合計	5,844 (6,797)	792,400 (677,500)

(括弧内数値は、令和4年度同期の数値)

今年度は昨年度より利用者が減少し使用料が増加しているが、今後においても各施設の利用者増に向けた対策や周知活動に取り組まれない。

(2) 住宅使用料及び財産収入の収納状況

本年9月末日現在における使用料及び財産貸付収入の収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区分		令和4年9月30日		令和5年9月30日	
住宅使用料	調定額	37,182,200	収納率	37,212,780	収納率
	収入額	35,772,400	96.2	36,066,850	96.9
	未収額	1,409,800		1,145,930	
財産収入	調定額	1,936,600	収納率	2,093,400	収納率
	収入額	1,936,600	100.0	2,093,400	100.0
	未収額	0		0	
合計	調定額	39,118,800	収納率	39,306,180	収納率
	収入額	37,709,000	96.4	38,160,250	97.1
	未収額	1,409,800		1,145,930	

(収入額は、本年9月末日までの納期到来分である。)

住宅使用料及び財産収入の合計での収納率は前年同期より上がっている。今後も高い収納率を目指した徴収に努められたい。また、関係各課との連携のもと、税及び他の使用料等の滞納状況を把握しながら、適切な対応に努められたい。

(3) 水道使用料の収納状況

本年9月末日現在における水道使用料の収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区分	調定額	収入済額	収入未済額	収納率
現年度分	69,847,185 (88,716,550)	69,195,085 (67,633,130)	652,100 (21,083,420)	99.1 (76.2)
滞納繰越分	944,690 (1,129,418)	118,994 (215,842)	825,696 (913,576)	12.6 (19.1)
合計	70,791,875 (89,845,968)	69,314,079 (67,848,972)	1,477,796 (21,996,996)	97.9 (75.5)

(括弧内数値は、令和4年度同期の数値)

昨年度の9月末日調定額には10月以降の基本料金も含まれた金額で計上さ

れていたが、今年度については9月末までに確定した基本料金しか9月末調定額に計上されていないことから、昨年度と比較して9月末調定額に大幅な差額が生じている。

(4) 下水道使用料の収納状況

本年9月末日現在における下水道使用料の収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 納 率
現年度分	12,451,500 (19,497,753)	12,236,385 (12,452,193)	215,115 (7,045,560)	98.3 (63.9)
滞納繰越分	355,191 (343,988)	79,216 (76,725)	275,975 (267,263)	22.3 (22.3)
合 計	12,806,691 (19,841,741)	12,315,601 (12,528,918)	491,090 (7,312,823)	96.2 (63.1)

(括弧内数値は、令和4年度同期の数値)

昨年度の9月末調定額には10月以降の基本料金も含まれた金額で計上されていたが、今年度については9月末までに確定した基本料金しか9月末調定額に計上されていないことから、昨年度と比較して9月末調定額に大幅な差額が生じている。

(5) 下水道事業受益者分担金の収納状況

本年9月末日現在における受益者分担金の収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 納 率
現年度分	90,000 (360,000)	90,000 (360,000)	0 (0)	100.0 (100.0)
滞納繰越分	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (-)
合 計	90,000 (360,000)	90,000 (360,000)	0 (0)	100.0 (100.0)

(括弧内数値は、令和4年度同期の数値)

8 教育委員会関係

(1) える夢館の利用状況

本年9月末日までのえる夢館の利用者数は、7,144人（前年同期5,219人）、月平均利用者数は1,191人（前年同期870人）で、前年同期より月321人利用者数が増加しているが、依然として新型コロナウイルス感染症前の利用者数にはなっていない状況である。

利用者数については、イベント等の実施状況により左右されるが、今後においても、生涯学習の拠点施設として新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底し利用しやすい施設の管理運営と事業展開に期待する。

また、える夢館の維持管理については、施設保守料、光熱費などの多額の維持費を必要とするため、鋭意節約に努められたい。

(2) 図書館の利用状況

本年9月末日までの図書館及び図書館バスの利用状況は、入館者数1,961人、（前年同期1,579人）、貸出人数936人（前年同期877人）、貸出冊数5,457冊（前年同期5,366冊）、1日当たりの平均貸出冊数36.9冊（前年同期37.0冊）であり、入館者、貸出冊数とも新型コロナウイルス感染症前と比較するとかなり減少している。

また、令和5年3月末日現在の蔵書冊数は、4万7,242冊（前年同期4万7,382冊）で、利用者の幅広いリクエストにも対応可能となっている。

今後においても幼少期から本に親しむための事業展開や特色ある図書館づくりを進めるなど、利用者の増加に向けた取り組みに期待したい。

(3) 総合体育館の利用状況

本年9月末日現在の利用者数は、3,363人（前年同期5,797人）である。利用者全体のうち、町内高校生以下利用者数987人（29.4パーセント）、19歳以上町民利用者数1,467人（43.6パーセント）、町外利用者909人（27.0パーセント）である。

本年の利用状況は、昨年度と比較すると2,434人（前年度比42.0パー

セント)の減少となっており、その要因としては小学生の少年団活動(バスケット)及び中学生の部活動(バスケット)での利用が減少したことが主である。

町民が日常的にスポーツに親しむ環境づくりを進め、今後も利用者を増やすための方策を検討されたい。

(4) 町民プールの利用状況(開館期間:6月1日~9月30日)

本年度の利用者数は2,004人であった。利用者の内訳は次のとおりである。

区分		本年度利用者数()内は割合		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
町内利用者	幼児	442人 (17.7%)	390人 (13.3%)	448人 (22.4%)
	小学生	1,450人 (58.1%)	1,586人 (54.0%)	1,115人 (55.6%)
	中学生	19人 (0.8%)	24人 (0.8%)	22人 (1.1%)
	16歳~19歳	1人 (0.1%)	13人 (0.4%)	2人 (0.1%)
	20歳~39歳	175人 (7.0%)	272人 (9.3%)	158人 (7.9%)
	40歳~59歳	296人 (11.9%)	412人 (14.0%)	146人 (7.3%)
	60歳以上	46人 (1.8%)	123人 (4.2%)	59人 (2.9%)
町外利用者		65人 (2.6%)	119人 (4.0%)	54人 (2.7%)
合計		2,494人	2,939人	2,004人

今年度は、前年度から935人減少しており、新型コロナウイルス感染症前の約半数までに減少している。

今後とも更なる利用促進に向けて努力されたい。

(5) 各学校における維持管理の状況

各学校の維持管理については、ほぼ適切に行われている。

9 農業委員会及び議会事務局関係

(1) 各課等共通事項

適正に処理されていると認める。